

石川県埋蔵文化財センターの令和4年度管理状況

施設所管課	教育委員会文化財課
施設管理者	公益財団法人石川県埋蔵文化財センター
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日
中期経営目標 (H30～R4)	<ul style="list-style-type: none"> ・入館者数を5年間で5%増加させます。 ・利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%を維持します。

1 中期経営目標達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組

(1) 実績

項 目	実施内容
① サービス向上・ 利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・まいぶん古代体験 古代体験コース（通年実施） 参加者 6,187人 （随時期間限定の体験メニューを実施） 古代体験まつり（10月2日） 参加者 1,100人 古代体験学習講座等（11回） 参加者 237人 ・まいぶん情報発信 いしかわの発掘展（7月16日～9月4日） 入館者 2,611人 講座 考古学最前線（12月10日） 参加者 70人 発掘報告会（2月26日） 参加者 120人 まいぶん考古学講座（3回） 参加者 38人 ・まいぶん出前教室 親と子の発掘体験教室（8月6日、9月3日） 参加者 37人 出前考古学教室（36団体） 参加者 1,691人 ・その他 「石川まいぶん博士」認定によるリピーターの促進 発掘現場における、現地説明会（9月17日、23日） 参加者 185人
② 広報活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページやSNSでのイベント・体験メニュー・出前講座等の情報発信、「いしかわの遺跡」の随時更新 ・年間行事案内の配布 ・マスコミへの古代体験関連の資料提供 ・所報「いしかわの遺跡」の発行 ・情報誌「石川県埋蔵文化財情報」の発行 ・新聞、広報いしかわによる情報発信 ・県内各市町、全小学校に施設見学と出前講座の案内を配付 ・出前講座において年間行事案内、「石川まいぶん博士」等のチラシ配付 ・地域情報誌、フリーペーパーへの取材協力、情報発信 ・近隣施設との連携によるポスター・チラシの掲示

(2) 令和5年度における取組内容の見直し等

実施内容
<p>新型コロナウイルス感染症が落ち着きつつあり、中止していた体験事業や展示等を順次再開していくことに加え、引き続き「石川まいぶん博士」事業の更なる周知を図るとともに、重要文化財「加賀郡榜示札（かがぐんぼうじふだ）」、県指定有形文化財「野々江本江寺（ののえぼんこうじ）遺跡出土品」の春・秋季公開にあわせて、小松市八日市地方遺跡から出土した「柄付き鉄製ヤリガンナ」の実物の展示を行う。</p> <p>また、ホームページやSNSを活用し、イベントや体験メニュー等の情報を幅広く発信していくとともに、YouTubeにおいて、施設の紹介や仕事の内容、企画展、古代体験などの動画を公開し、県民の文化財に対する関心と理解を深め、施設の利用促進に努める。</p> <p>さらには、博物館施設等からの実物資料の貸出し依頼に協力するなど、当センターが所蔵する資料の積極的な公開・活用にもより一層の利用者の増に努める。</p>

2 中期経営目標の進捗状況

測定指標	H26～28 平均 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度	前年度比	基準値比	R5年度 (目標値)
(1) 利用者数（人）	18,752人	8,341人	9,135人	13,733人	150.3%	73.2%	18,880人
(2) 貸館稼働率(%)	—	—	—	—	—	—	—
(3) 利用者アンケート における満足度							
利用者サービス(%)	99.0	98.9	98.6	100.0	1.40 ^対	1.0 ^対	95%以上
施設の維持管理(%)	98.3	100.0	100.0	100.0	.0 ^対	1.70 ^対	95%以上

※基準値は中期経営目標における基準値

<利用者数、貸館稼働率など利用指標に係る増減理由>

指標	対前年度増減理由	対基準値増減理由
利用者数	<p>・R4は新型コロナウイルス対策による臨時休館がなく、感染対策を徹底しながら、予定通りの体験事業、イベント等を実施することができたため利用者は増加。 (参考) R3臨時休館期間 5.12～6.13、7.31～9.30</p>	<p>・新型コロナウイルス対策による臨時休館がなく、感染症対策も徹底してはいるものの、団体体験・見学者数が伸びないため、以前の利用者数には及ばず、対基準値減。ただし、回復傾向にはある。</p>
貸館稼働率	—	—

<利用者アンケート結果（令和4年4月～令和5年3月実施 有効回答数22件）>

項目	回答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス(%)	88.0	12.0	0.0	0.0
施設の維持管理(%)	96.0	4.0	0.0	0.0

3 施設等の維持管理

項目	実施内容
(1) 清掃	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期（日常）清掃 本館毎日、体験工房週3回 ・ ワックス清掃 年3回 ・ ガラス清掃 年3回 ・ ネズミ、害虫防除 年2回
(2) 設備保守点検	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電気設備 年6回 ・ 消防設備 年2回 ・ 昇降機設備 年12回 ・ 空気調和設備 年8回 ・ 簡易専用水道 年1回 ・ 地下タンク（灯油）年1回 ・ クレーン設備 年12回
(3) 植栽維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 樹木剪定（43本） ・ 雪吊り（中高木21本、低木80組） ・ 除草作業（年3回）
(4) 警備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夜間機械警備、設備（消防設備発報、空調設備異常）監視
(5) 小規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来館者用男子便所小便器修繕 ・ 体験工房空調機修繕 ・ 親時計修繕 ・ オイルタンク用レベルセンサー修繕 ・ 安定器修繕（情報処理室ほか） <p style="text-align: right;">ほか多数</p>

4 管理運営体制

項目	実施内容
(1) 緊急時の対応・安全管理などの危機管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公益財団法人石川県埋蔵文化財センター執務体制要領の策定 ・ 熱中症講習会の実施（5月25日） ・ 救急法講習（6月13日） ・ シェイクアウトいしかわ（7月8日） ・ 産業医発掘現場指導（8月3日） ・ 消防訓練の実施（11月25日）
(2) 個人情報の管理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公益財団法人石川県埋蔵文化財センター個人情報保護規程を定め適正に管理

5 収支状況

(1) 使用許可等の状況

（単位：件）

項目	許可件数	不許可件数	不許可理由
合計	0	0	

(2) 使用料の収入実績（利用料金の収入及び減免の状況）

(単位：千円)

項目	収入額	減免額	減免理由
合計	0	0	

(3) 収支決算

(単位：千円)

収入		支出	
指定管理料	49,647	人件費	11,871
利用料収入		光熱水費	5,809
その他		修繕費	10,042
		その他	21,925
合計 ①	49,647	合計 ②	49,647
収支差額 ①-②	0		

6 利用者からの意見、苦情、要望

年月	内容	対応
令和4年5月	子どもが読める簡単な説明があると嬉しい。	来館者の属性に応じた対応に努める。
令和4年7月	漢字すべてに読み仮名が欲しい。	来館者の属性に応じた対応に努める。
令和4年8月	体験する場所とメインの所を一緒にする。	体験する体験工房と、展示をメインとする本館について、雨天・積雪時等は行き来するのに不便をかけることもある。現在、対応することは難しいが、一つの意見として今後に生かしていきたい。
令和5年3月	幼児や小学校低学年向けの絵本があるとありがたい。	来館者の属性に応じた対応に努める。

7 事故、故障等

年月	内容	対応

8 その他報告事項など

要記入基本協定（仕様書）の規定により、毎月施設管理作業確認表を作成し、実施状況を報告。

9 評価結果

評価項目	評価	所見（工夫・改善点）
(1) 中期経営目標の達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組	B	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信の強化による啓発、親子・家族連れを対象にした古代体験メニューの充実や展示品の随時入れ替えなどによる対象の拡大と啓発を継続して図るほか、利用者アンケートから要望を把握し、より快適な環境整備に努めている。 ・親しみやすい雰囲気創出のため、来館者をはじめとした本センターに興味を持った方々に対し、わかりやすく、丁寧に対応するよう職員の接客向上に努めている。
(2) 施設等の維持管理	B	<ul style="list-style-type: none"> ・維持管理業務については、専門性、効率化等を考慮し、適正に委託を実施しているほか、定期的に職員が施設・設備の安全点検を実施し、修繕等にも的確、迅速に対応している。 ・サーモグラフィの設置や定期的な館内の消毒、換気など新型コロナの感染防止対策をしっかりと行った上で施設を管理している。
(3) 管理運営体制	B	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な職員の配置がなされ、職員の資質向上のため業務に関する研修会・講習会を開催している。また、災害に対応するため、執務体制要領を作成するとともに、防災訓練を実施している。 ・公益財団法人石川県埋蔵文化財センター個人情報保護規定事務要綱を定め、職員に周知徹底をはかり、適切な情報管理を行っている。
総合評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財の発掘調査、出土品の整理、保存、収蔵管理及び普及啓発を行うとともに、施設の設置目的に合致した適切な管理運営を行っている。

○ 評価基準

- A（優）：仕様書等に定める水準を大いに上回っており、その結果、優れた実績をあげている
- B（良）：仕様書等に定める水準を上回っている
- C（可）：概ね仕様書等に定める水準どおり実施されている
- D（不可）：仕様書等に定める水準を下回っており、改善を要する部分がある

○ 総合評価

- A（優）：優れた管理運営がなされており、かつ、十分な実績をあげている
- B（良）：優れた管理運営がなされている
- C（可）：適正な管理運営がなされている
- D（不可）：改善が必要である

10 助言・指摘事項

特になし